
殺人アリス

ハル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

殺人アリス

【Nコード】

N4253K

【作者名】

ハル

【あらすじ】

普通の少女 姫香の前に有名絵本に出てくるキャラが・・・

遅刻

道を急いで走る少女がいた

その子の名前は、水無月^{みなづき} 姫香^{ひめか}

「はあ、はあ」

登校時間終了まで、あと3分。

学校が見える、校門はまだ閉まっていらない・・・

（よっしゃー！ー）

昇降口で靴を脱ぎ、上靴をはき、階段はスキップで登っていった

ガラガラッ

「おはよう！皆の衆」

「・・・」

返事が聞こえない。

目をあけると

「!？」

誰もいなかった・・・

（あれ、今日って全校集会だった？ ま、時間あるし寝よう！）

15分経過

パチ

（あ、前の席に誰がいる・・・ やっぱり集会だったんだな）

「おはよ」

前の席の木村さんに声をかける。

いつもなら

「おはようございます。水無月さん」

と言ってくれるのに、今回は

「おはよう。アリス」

（はいいいい！？ごめん、木村さん頭おかしくなった？）

顔を上げるとそこにはゴスロリファッションの美少女が！！

（こんな子ウチのクラスに居た？てか、服、血っぱいモノで、赤く染まってるんだけど）

勇気をふりしほり

「あの、どちら様で」

「アリス。僕だよ？ 白ウサギだよ？」

（おいおい、アリス。白ウサギって、不思議の国のアリスの世界みたいじゃん。うーん。はーんこの子はきつと今こっぴどいなりきりごっこにハマってるんだな？）

「違うよ」

（あ、違うんだ。！？心読んだ？今、この人吾輩の心を読んじゃいましたアアアアー？）

ガシッ

次の瞬間、姫香の腕は、自分より細いと思われる白い腕につかまっていた。

「行こう」

「何処に！？」

「僕たちの世界へ」

床の上に紫色の魔方阵が一瞬のうちにでき、姫香は自称：白ウサギに連れていかれた。

目をあけるとそこには、昔絵本でみたことのある不思議に国のアリスの世界だった。な、わけはなく。不思議の国とは程遠い 血で染められた世界であった。

「ほう、このお方がアリスか」

後ろから声がした。見ると、実際に、チェシャ猫がいたらこんな格好だろうな。と思う服装のイケメンがいた。

遅刻（後書き）

こんなものを読んでもうださった方 有り難うございました

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4253k/>

殺人アリス

2010年11月12日11時38分発行